

保健体育科学習指導案

1. 単元(題材)名 「応急手当について知ろう」

2. 単元(題材)目標

- ①けがの正しい知識を身に着けることができる。【知識及び技能】
- ②けがの対処法に取り組むことができる。【思考力・判断力・表現力等】
- ③学んだけがの対処法を実践しようとする。【学びに向かう力・人間性等】

3. 教材観

本グループの授業では特別支援学校中学部学習指導要領〔保健体育〕の目標である「各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。」ことに重点をおいて授業を行う。

本単元は、応急手当について知識を深め実践力につなげる学習である。日常生活で事故などによってけがをする危険性がある。けがの状態を判断し、適切な応急手当を行うことでけがの悪化を防止することができる。身近に起こるけがを題材にすることで、日常生活と関連付けて生徒の取り組みやすいものを選定した。自分で対処できるけがの応急手当を知った上で、医療機関でより適切な措置を受けることの大切さに気づかせる機会としたい。

4. 指導観

活発で積極的に発言できる生徒が多いため、質問を多く取り入れ発言回数を増やすことに重点を置いて指導を行う。身近に起こるけがを題材にすることで、日ごろの生活で起こる可能性があることを伝え、どのように対応すればいいか、知識や技術を学習し、これからの生活に生かせるよう実践も交えて指導を行う。特に実践練習では、指導者が肯定的な言葉かけを行うことを意識して、「できた」という達成感を味わうことができるように指導を行う。

5. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①けがの原因と種類を分類し整理することができる。 ②けがの状態に対処法を確認することができる。	①けがの状態に応じた対処法を考えている。 ②考えたことを発表したり、友だちの意見を参考にしたりして自分の意見を修正しようとしている。	①学んだけがの対処法を積極的に実践しようとしている。 ②状況に応じた判断ができ、行動して話すことができる。

6. 単元（題材）の指導と評価の計画（全3時間、本時は第1時）

次	時	学習内容	評価規準		
			A 知識及び技能	B 思考力・判断力・表現力	C 主体的に学習に
第一次	1	「応急手当について学ぼう（擦り傷、切り傷）」	①②	①②	①
第二次	2	「応急手当について学ぼう（打撲、捻挫）」	①②	①②	①
第三次	3	まとめ	②	②	①②

7. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・けがの原因と種類を知る
- ・けがの基本的な対処法を実践する

(2) 本時の評価規準

- ・積極的に参加することができる
- ・けがの対処法を実践することができる

(3) 本時で扱う教材・教具

- ・名簿 ・イラスト ・絆創膏 ・小さいシール

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準（評価方法）
5分 導入	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・出欠確認 ・本日の予定の確認 <ul style="list-style-type: none"> ①けがの原因と種類のマッチング ②出血の対処法 ③絆創膏の貼り方の練習 ④まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・T1が指名して、号令を促す。 ・挨拶を行った生徒に出欠確認を行うように促す。その時の様子から生徒の様子、体調を確認する。 ・本時の予定を確認し、見通しをもって授業が行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声を出して返事をするができる。 ・前を向いて話を聞くことができる。
30分 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの種類の説明 イラストをホワイトボードに貼り、日常で起こるけがの種類(出血、打撲、骨折、捻挫)を説明する。 ・けがの原因と種類のマッチング けがの原因(ころぶ、切る、ぶつけるなど)のイラストを見て、起こる可能性のあるけがの種類を答える。 ・出血への対処法を説明する。 流水でしっかり流す。 できれば、消毒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストを用いてけがの状態をわかりやすく説明する。 ・当てはまると思うものに挙手をして答える方式で授業を進めて参加しやすい雰囲気を作る。 ・傷口を清潔に保つことと傷口の保護について伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストに注目することができる。 ・けがの種類と原因を一致させることができる。 【A 知識・技能】 ・挙手をして授業に参加できている。 【C 主体的に学習に取り組む態度】 ・絆創膏の貼り方を実践することができる。

	<p>清潔な布で押さえる。(止血) 血が止まったら絆創膏を貼る。</p> <p>・絆創膏の貼り方の実践 使い方を説明して絆創膏を貼る練習を行う。</p> <p>①机に赤いシールを貼り、そこに絆創膏を貼りつける。</p> <p>②腕に絆創膏を貼る。</p> <p>③指に絆創膏を貼る。</p>	<p>・病院に行く場合について説明する。(時間が経っても傷口の血が止まらない、熱を持つ場合など)</p> <p>・TT と連携を取り、①ができたなら②へと個別に課題に取り組めるように促す。</p> <p>・達成感が得られるような肯定的な言葉かけを行う。</p>	<p>【B 思考・判断・表現】</p>
<p>5分 まとめ</p>	<p>・振り返り</p> <p>・あいさつ</p>	<p>・絆創膏が正しく貼ることができているか確認する。</p> <p>・T1 が日直を指名して、号令を促す。</p>	<p>・指導者の話を聞くことができる。</p>